



中村ロータリークラブ

例会記録 (2024～2025)

会 長/嶋 村 晃

幹 事/山 崎 隆 之

会報委員長/大 塚 和 助

創 立/昭和38年10月2日

例会日/水曜日 12:30～13:30

例会場/新ロイヤルホテル四万十

事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F

TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553

●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2824

第2955回 令和7年2月12日(時雨)

本日のプログラム：ゲストスピーチ 濱口明大様 東中筋小学校長

2月19日(水)：ゲストスピーチ 庄司耕世様 地域おこし協力隊

2月26日(水)：休会(定款第7条第1節)

【会長挨拶】嶋村 晃会長

皆さんこんにちは。昨日は建国記念日でした。「建国記念日」を法律で定めて祝日とする国家は多いが、何をもって建国記念日とするかは、国によって異なるようです。日本では、建国の日が明確ではないが、建国をしのぶ日として法律に基づき「建国記念の日」が定められました。日付は政令に基づき、日本神話を基に建国日とされていた紀元節と同じ2月11日にされたそうです。

2月11日は、神武天皇(日本神話の登場人物であり、古事記や日本書紀で初代天皇とされる)の日本書紀における即位日の月日を、明治時代にグレゴリオ暦での具体的な日付として推定したものだそうです。

神武天皇の書記に「正しいことを広めていこう。そしてみんなが仲良く暮らしていける国にしよう」とあります。つまり、1000～2000年先の日本国のビジョンを掲げていたのでしょう。

【幹事報告】山崎 隆之幹事

- ・ガバナー事務所より
 - 1) 地区大会の内容について
 - 2) 青少年奉仕委員会より第47回青少年少女キャンプのお知らせ 3/25～29日
神戸 YMCA余島少年キャンプ場
小学1年～高校3年生対象
- ・ガバナーエレクト事務所よりDTTSのご案内
3/2(日) 13:30～16:45 新阪急高知
- ・四万十川自然再生協議会より総会開催のご案内
3/1(土) 14:00～
- ・先週の理事会承認事項
 - 1) 新年会の余剰金97,430円を親睦委員会へ繰り入れ

【委員会報告・会員発言】

青木R財団委員長

ロータリー財団への寄付を本年も100%達成を目指しています。ご協力をよろしくお願いします。



【本日のプログラム】 ゲストスピーチ 濱口明大様 東中筋小学校長



『ヘブン ヒガナカ』映画制作について

本日は、本校の子どもたちの“学びの軌跡”を紹介する機会をいただきましてありがとうございます。この後、上映の短編映画『ヘブン ヒガナカ』は配役（所謂、演技者）は勿論、台本制作や監督・撮影など映像編集以外の大半を東中筋小学校の5・6年生が担いました。

ただ、新聞やテレビ報道などでご存じの方も多くと存じますが、高知市在住の安藤 桃子監督の全面的なご支援・ご指導と、NPO「地球の子どもビジョン」の関係者の皆さま等、多くの方々のサポートがなければ、『ヘブン ヒガナカ』は誕生しなかったと思います。この場をお借りして、お世話になった全ての皆様に改めて御礼申し上げます。では、映画づくりに挑戦することになった経緯や映画制作の裏話などを、ご紹介させていただきます。

きっかけは1年前「せいぶ印刷工房」の小林はなこさんからの誘いでした。県東部の夜須小学校と中部の大篠小学校で映画づくりを行なっていましたが、是非、県西部の小学校でもやってみないか！！という誘いでした。小林さんが東中筋小学校OBであったというご縁で、本校に白羽の矢が立ったとのことでした。

今でこそ笑い話として語ることができますが、もうすぐ1年が経とうとしている昨年の異動発表の際に、私の東中筋小学校への転任を知って、最初に四万十市の久保教育長にいただいた情報が、「来年、東中筋小は総合的な学習の時間の研究に取り組み、目玉事業として映画制作を行う」というものでした。正直、不安いっぱいの始まりでした。それから怒涛の数か月でした。ゴールは、東中筋地区あげての大イベント、11月30日に開催の『四万十つるの里祭り』での映画上映会に定めました。

その後、10月8日、安藤さんの来校の日を迎えました。そこからは、まさに“一気呵成”でした。10月と11月にそれぞれ2日、計4日間、朝イチから夕方までビッシリ！？多くのスタッフの皆さんにシナリオ・台本作成から撮影等の技術指導まで、手取り足取りで教えていただきました。

普段は少しやんちゃな男の子たちが目を輝かせて裏方に徹したり、いつもは引っ込み思案な子どもたちが主役に立候補したり、学校で日頃見せる顔とは違った一面を見せてくれました。「地球の子どもビジョン」のスタッフの皆さんからも、5・6年生は“本番に強い！”とお褒めの言葉をいただきました。

そして、11月30日の『四万十つるの里祭り』に「ヘブン ヒガナカ」が上映されました。会場に入りきれないほどの多くの皆様にご観覧いただくことができ、5・6年の子どもたちも達成感でいっぱいでした。

ただ上映会が終わった後に分かったのですが、当日、会場に入り切れなかった方々が相当数いらっしゃり、別の機会に映画を上映してほしいという声が多く寄せられました。そこで、子どもたち手作りのチラシを地域の皆さんに配布する等して、2月22日の学校行事「学習発表会」のエンディングに上映することにしました。

また、4月10日開催予定の「四万十市・市制施行20周年」の記念式典での上映が検討されているとのことです。多くの機会、場で本校の子どもたちの生き生きとした姿を ご覧いただけることを本当に光栄に存じますと同時に、映画制作に関わっていただいたスタッフの皆様への感謝の思いが再燃して参ります。

本日は、『つるの里祭り』以来、2度目の上映となります。5・6年の子どもたちは、今日この場には伺えませんでした。自分たちが懸命に作り上げてきた映画を皆様にご覧いただくことを喜んでいることだと思います。

10分少々短編作品です。皆様の鑑賞に耐えるか、この場にふさわしいか否か、甚だ不安ですが、どうかご覧ください。

【ニコニコ箱】

山崎幹事：濱口校長！いい町、いい生徒、いい映画ですね。もっともっと四万十市へミッチーみたいな子が来るといいですね。ありがとうございました。

【出席報告】 ・会員総数59名（免除会員6名）

・本日の出席/30名 60%

・先週の訂正 M12 71.48%→91.67%